

10月26日(金)

創立10周年記念式典を挙行了しました

10月26日(金)、天候に恵まれた中、多数の御来賓の皆様の御臨席をいただき、本校体育館で、創立10周年記念式典を行いました。

校長式辞として次のような話をしました。

校長式辞

東京都立大田桜台高等学校は、平成21年4月に開校し、今年度創立10周年を迎え、本日、ここに創立10周年記念式典を実施できますことに、誠に大きな喜びを感じております。

創立以来、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りました地域の皆様をはじめ、保護者、同窓会、桜花会など関係の皆様、ならびに、本校の発展のために御尽力いただきました歴代の校長先生、教職員の皆様に深く敬意を表します。

また、ご多用の中、大変多くの御来賓の皆様にご臨席いただきましたことに心より感謝申し上げます。

本校は、平成14年に策定された「都立高校改革推進計画・新たな実施計画」により、東京都立赤坂高等学校全日制課程と東京都立市ヶ谷商業高等学校全日制課程を発展的に統合し、進学型専門高校として設置されることとなりました。その後、基本計画検討委員会、開設準備室等で様々な検討が重ねられた結果、平成20年10月、東京都立大田桜台高等学校全日制課程ビジネスコミュニケーション科が設置され、平成21年4月に第1期生を迎えました。開校当時は、元赤坂高校の敷地をお借りしておりましたが、平成23年4月、現在校舎がある大田区中馬込三丁目のこの地に移転しました。この地は、以前は東京都立南高等学校があった敷地です。南高校はすでに閉校となっておりますので、本校が平成23年4月に、ここ中馬込の南高校跡地に移転するにあたっては、地元の中馬込宮ノ下町会、馬込二本木町会をはじめ、地域の皆様に大変大きなご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

さて、進学型専門高校とは、ビジネスに関して必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得させるだけでなく、経済社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できるスペシャリストを育成するため、大学等への進学を前提とした、新しいタイプの専門高校です。この理念を具現化するために、本校は、「グローバル社会で、主体的に生きぬくことができる人材の、基礎学力と素養を育成する、明るい開かれた学校」を目指して、次の4点について、ビジネスコミュニケーション科ならではの特色ある教育活動を展開してきました。

1点目は「役立つビジネス」を目指したビジネス教育です。ビジネス科の学校設定科目『キャリアデザイン』『東京の経済』等を活用し、主体的な進路選択を促すためのキャリア教育を充実させています。その他にも、『ビジネスモデル研究』や『プレゼンテーション』などの学校設定科目を多数設置し、上級学校で研究を深めるための基本的知識・技能を習得させるとともに、ビジネス社会で活躍するために求められる情報発信力やコミュニケーション能力を育成しています。生徒たちはこれらの授業で身につけた能力を推薦入試やAO入試等の進路活動で大いに活用し、希望進路を実現してきました。また、簿記や情報処理に関する高度な資格を取得することはもちろん、伝統ある商業高校が毎年多数参加する高

等学校簿記コンクールで、全国大会に連続出場も果たしました。近年では、外部機関と連携した探求型のビジネス教育に重点的に取り組んでいます。平成29年度には、企業と連携して実施した「楽天 IT 甲子園」や「クエスト」などのコンテストにおいて全国大会へ出場するなど、素晴らしい活躍をしております。

2点目は「使える英語」を目指した英語教育です。13,000冊を超える英語図書を活用した多読・多聴の取り組みをはじめ、各種コンテストにも積極的に参加しています。平成28年度より東京都教育委員会英語教育推進校の指定を受け、それまで以上に組織的な取り組みを実施してきました。近年では、東京都商業教育研究会主催英語スピーチ・コンテストで優勝し、全国大会優秀賞受賞という成果をあげました。同じく東京都商業教育研究会主催のEnglish Business Plan Contestでは、平成28・29年と2年連続で優勝の栄冠に輝きました。長期休業中を利用して2週間のホームステイを行うイギリス語学研修にはここ数年10名前後の生徒が参加しています。また、開校以来継続している1年生全員参加の英語合宿「アメリカン・キャンプ」は、7月に山中湖で実施し、英語や異文化に対する生徒の意識改革に大いに寄与しています。

3点目は生徒の多様な能力を伸ばす特別活動です。「グローバル社会で主体的に生きぬくことができる人材育成」のために、言語教育や国際理解教育にも力を入れきました。ブックトークフェスティバルや百人一首大会の開催、読書力新聞の発行などにより言語教育を推進しています。国際理解教育の面では、フランス、インドネシア、韓国などの留学生が本校を訪問して交流活動を行いました。また、スペイン語や中国語の選択科目も活用して、生徒の視野を世界へ向けさせる取り組みも行っています。部活動においては、「文化・スポーツ等特別推薦」を実施している卓球部が、平成29年度に念願の関東大会出場を果たしました。卓球部の活躍は他の部活動への刺激となり、多くの部活動が都大会上位を目指して頑張っています。

4点目は夢をかなえる進路指導についてです。本校ではビジネス教育と英語教育を中心とした特色ある教育課程を実施しているため、推薦制度を活用して文系学部に進学する生徒が多数を占めています。生徒たちの希望進路を実現するための進路指導においては、3年生1名に対して教員1名を割り当てる形で、希望進路の実現まで「丁寧に粘り強く」指導しています。一人ひとりの生徒の希望進路を叶えるために、まさに「一丸となって取り組んでいる学校」と自負しております。このような特色ある教育活動を体験して、これまでに1,157名が本校を卒業し、上級学校やビジネス界で活躍しています。平成30年3月に卒業した7期生では、大学・短大進学者率が64%となり開校以来最も高い数値となりました。進学型専門高校として開校した本校は、現在進行している高大接続改革に適切に対応できるよう教育内容を見直すとともに、進学率を向上させていくための努力を継続していかねばなりません。本校の次の十年に向けて、ビジネスコミュニケーション科の特色を活かした大田桜台高校オリジナルの学力伸長方法の研究・開発をさらに進め、進学型専門高校として、これまで以上に地域に愛され都民に必要とされる明るい開かれた学校づくりを推進していきます。

結びに、創立十周年記念式典を挙げるにあたり、様々な御協力を賜りました関係の皆様、この場をお借りして深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも、本校の一層の発展に向けて、皆様の益々の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

平成30年10月26日

東京都立大田桜台高等学校長 高山昭彦

今後も、地域の皆様、保護者の皆様のご期待応える教育を、本校教職員一丸となって取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。